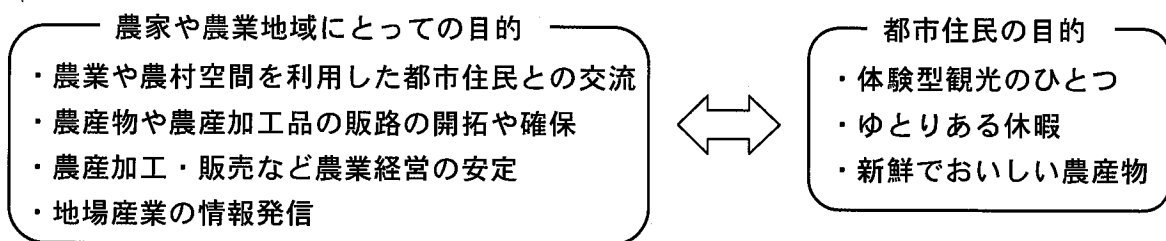


## II 「やちよふれあいの農業の郷」構想基本計画

### 1. 見直し計画の基本方針

見直し計画の基本方針としては、当初計画の基本構想を踏襲し、それに加え、現在のふるさとステーション等の利用状況及び周辺の豊かな自然環境・文化財等も視野に入れるとともに、これからの時代に合致した計画とするため、より都市住民との交流を深めるグリーン・ツーリズムの推進及び地場産業の情報発信を目指すものとする。

グリーン・ツーリズムは、農業を中心とした地域を舞台に都市と農村が人と人との交流を深めるもので、その目的は下記のようになる。

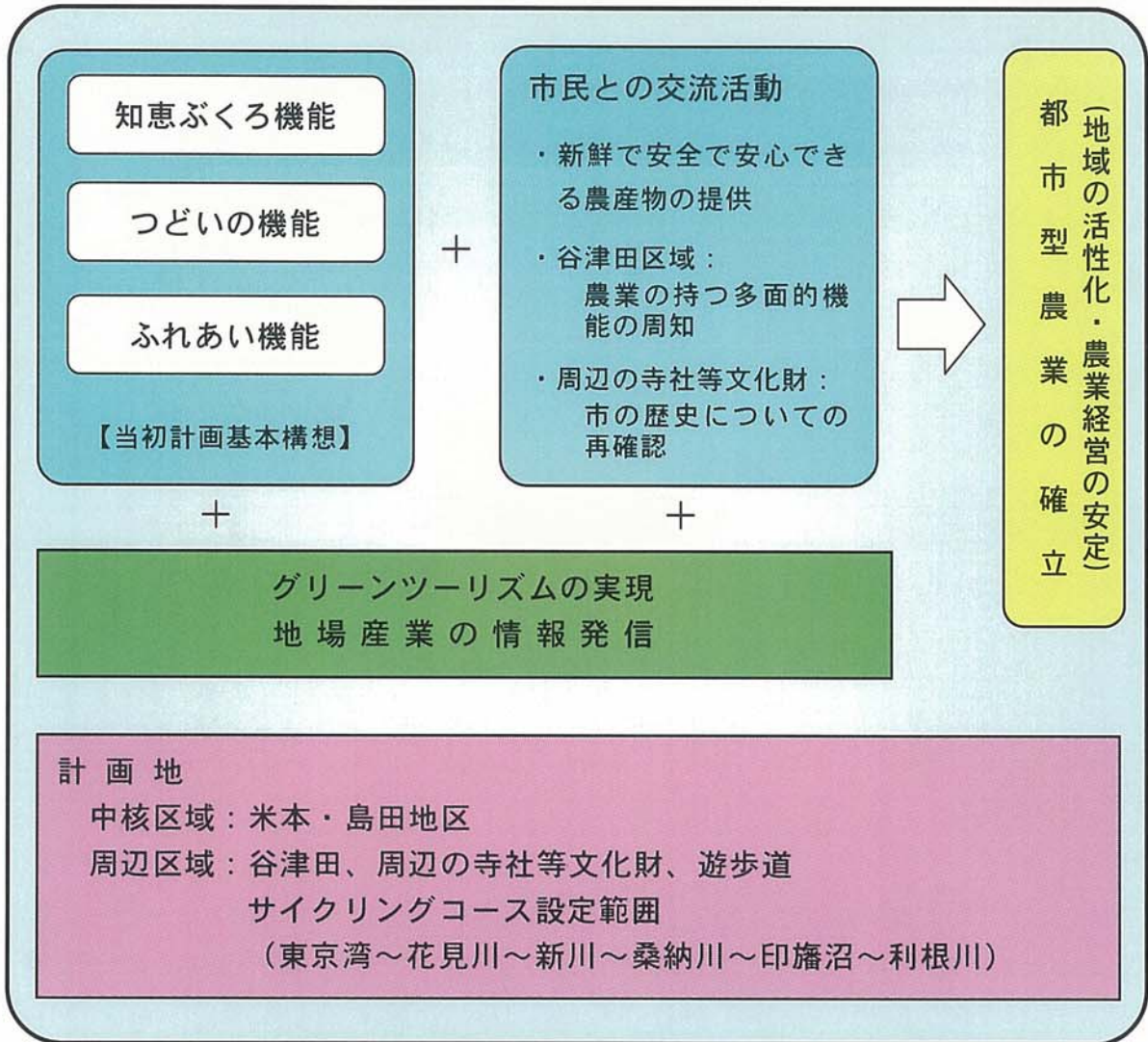


構想計画の中核となる計画地としては、既存のふるさとステーションを中心に当初計画で予定されていた米本地区に加え、新川対岸の島田地区も取り込み計画する。

島田地区については、県営ほ場整備事業「陸東部1期地区」が平成15年に事業化されたことを受け、非農用地設定の中で施設用地を確保する計画である。また、島田地区営農計画の中で市民・観光農園も計画しており、本計画の基本構想に沿ったものとなる。

これら米本地区と島田地区とを中核とし、周辺に点在する寺社等の文化財及び豊かな自然環境を有する谷津田区域を中心とした遊歩道やサイクリングコースの設定等も計画の中に取り込み、グリーン・ツーリズムに適した計画とする。

構想の基本方針として、市民に新鮮で安全で安心できる農産物を提供することはもちろんのこと実際に農業や農産物加工を体験することにより、農業への理解を深めてもらう。他、市内の他産業（商工業）の情報発信を行うなど、八千代市の総合的な情報を提供する。また、谷津田が有する多様な自然環境を通じ、農業の持つ多面的な機能を広く知ってもらうとともに寺社等の文化財にふれあうことより、市の歴史等についても再確認してもらう。このために、散策路、案内板等の整備及び各種イベント等を行い、遊歩道やサイクリングコースの設定等も含め、都市住民が農業とふれあう機会が多くなる計画とする。



【「やちよふれあいの農業の郷」基本方針イメージ図】